

自主運行バス 花のまちフェア実績

令和7年 花のまちフェア(令和7年5月24日(土)・25日(日))

	令和7年度実績		
	24日人数	25日人数	合計人数
きたうえ号	124	76	200
ふれあい号	50	33	83
花のまち号 (タクシー)	104	95	199
せせらぎ号 (西回り)	95	85	180
せせらぎ号 (東回り)	88	85	173
なかざと号	32	32	64
みはらし号	1		1
合計	494	406	900

※玉沢線・見晴台線・伊豆佐野線は除外。山田小沢線・花のまち号(バス)は土日運休。

(参考) 前週(令和7年5月17日(土)・18日(日))

	令和7年度実績		
	17日人数	18日人数	合計人数
きたうえ号	76	93	169
ふれあい号	19	35	54
花のまち号 (タクシー)	64	78	142
せせらぎ号 (西回り)	40	60	100
せせらぎ号 (東回り)	37	30	67
なかざと号	14	28	42
みはらし号	1		1
合計	251	324	575

※玉沢線・見晴台線・伊豆佐野線は除外。山田小沢線・花のまち号(バス)は土日運休。

前週との比較			
土曜人数	日曜人数	合計	増加率
48	-17	31	118.3%
31	-2	29	153.7%
40	17	57	140.1%
55	25	80	180.0%
51	55	106	258.2%
18	4	22	152.4%
0			
243	82	325	156.5%

(参考) 前年花のまちフェア(令和6年5月25日(土)・26日(日))

	令和6年度実績		
	25日人数	26日人数	合計人数
きたうえ号	86	60	146
ふれあい号	32	23	55
花のまち号 (タクシー)	104	72	176
せせらぎ号 (西回り)	70	56	126
せせらぎ号 (東回り)	42	36	78
なかざと号	37	24	61
みはらし号			0
合計	371	271	642

※みはらし号は運行前。

前年との比較			
土曜人数	日曜人数	合計	増加率
38	16	54	137.0%
18	10	28	150.9%
0	23	23	113.1%
25	29	54	142.9%
46	49	95	221.8%
-5	8	3	104.9%
122	135	257	140.2%

三島市エコエコデー＋三島市コミュニティバス運賃無料 乗車人数結果

(単位：人)

	令和5年度		
路線名	11/24 (金)	12/1 (金)	12/8 (金)
きたうえ号	96	127	94
ふれあい号	37	57	38
花のまち号 (バス)	113	120	111
花のまち号 (タクシー)	60	73	63
山田・小沢線	2	1	1
せせらぎ号東 (伊豆箱根)	61	86	65
せせらぎ号西 (東海バス)	89	124	58
なかざと号	37	56	28
合計	495	644	458

(単位：人)

	令和6年度		
路線名	12/6 (金)	12/13 (金)	12/20 (金)
きたうえ号	116	147	105
ふれあい号	37	66	32
花のまち号 (バス)	129	149	146
花のまち号 (タクシー)	81	120	84
山田・小沢線	0	1	3
せせらぎ号東 (伊豆箱根)	58	90	66
せせらぎ号西 (東海バス)	77	85	85
なかざと号	39	36	39
合計	537	694	560

< 参考 >

自主運行バス1か月無料デー実証実験検証データ

※実施主体「富士山南東スマートフロンティア推進協議会」
 （三島市、裾野市、長泉町、清水町の2市2町が共同で運営する協議会）

●R6年度利用状況 (人)

自主運行バス	12月	1月(実証実験実施月)	2月実績	3月実績
せせらぎ号(西回り)	2,164	2,709	1,830	2,257
せせらぎ号(東回り)	1,422	2,460	1,603	1,625
きたうえ号	2,581	3,151	2,358	2,707
ふれあい号	1,050	1,349	857	999
なかざと号	904	961	847	950
山田小沢線	4	5	1	1
みはらし号	80	133	87	113
小計	8,205	10,635	7,583	8,652

●R5年度利用状況 (人)

自主運行バス	12月	1月	2月実績	3月実績
せせらぎ号(西回り)	2,164	1,718	1,854	2,247
せせらぎ号(東回り)	1,426	1,436	1,239	1,421
きたうえ号	2,386	1,970	2,104	2,303
ふれあい号	988	983	880	962
なかざと号	981	884	992	1,131
山田小沢線	5	5	3	6
みはらし号				
小計	7,950	6,996	7,072	8,070

増加率

自主運行バス	12月	1月	2月実績	3月実績
せせらぎ号(西回り)	100.0%	157.7%	98.7%	100.4%
せせらぎ号(東回り)	99.7%	171.3%	129.4%	114.4%
きたうえ号	108.2%	159.9%	112.1%	117.5%
ふれあい号	106.3%	137.2%	97.4%	103.8%
なかざと号	92.2%	108.7%	85.4%	84.0%
山田小沢線	80.0%	100.0%	33.3%	16.7%
みはらし号				
小計(みはらし号を除く)	102.2%	150.1%	106.0%	105.8%

バスに乗って、出かけよう。



Happy Ride in Shizuoka Project



～2025小学生バス無料デーの実施～

ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会
(事務局：静岡県バス協会、県地域交通課)

背景と目的、目指す姿

背景

- ・少子高齢化、人口減少、モータリゼーションの普及による長期的な乗合バス利用者の減少
- ・バスドライバーの高齢化による運転手不足への危機感



目的

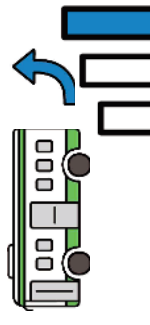
- ・小学生を中心とした地域住民のバス利用の促進
- ・地域の移動手段である路線バスを将来に渡り維持するため、**社会全体で「乗って残す」意識を啓発**
- ・皆でバスに乗り合うことによる環境負荷の低減



目指す姿

- ・マイカーから地域公共交通への転換（モビリティマネジメントの推進）
- ・バスが楽しい、（無料デーでなくても）バスに乗りたい小学生の増加
- ・子どもをバスに乗せたいと思う保護者の増加

**バス利用頻度
の増加**



2024実施結果

概要

小学生のバス利用を促進し、バス利用者の増加につなげるため、
県内全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した。
(小学生を対象とした全県規模の実施は全国初)

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校の全児童)
実施日	令和6年12月7日(土)～8日(日) 2日間
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス (土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員: 国、県、市町、(一社) 静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局: 静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター

2024実施成果と課題

成果

- ◆無料デー当日のバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加（子どもの利用者は前週、翌週の約 4 倍）
- ◆バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない（今までに 3 ～ 5 回以下）小学生が44%、1 度もバスに乗ったことがない、または 1 ～ 2 回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%を占めた
- ◆今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で 6 割以上を占め、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約 8 割を占めた
- ◆バスに乗った保護者等の 8 割以上が、バス無料デーに満足と回答、満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最多
- ◆バスに乗らなかった保護者等についても、9 割以上が次回は子どもを乗せたいと回答（資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果）

- ◆普段マイカー利用が多い小学生及びその保護者が、無料デーにバスを利用する等、バス利用の体験機会を提供することができた
- ◆バス利用の呼びかけや小学生アンケートの実施により、バスへの意識や関心を高めることができた

【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

将来に向けた更なる利用促進にも繋がる取組であり、効果検証しながら続けていくことが必要

2024実施成果と課題

課題

◆小学生の約4割が無料データーを「知らなかった」と回答

(回答者がいなかった小学校は更に認知度が低い可能性あり)

◆情報入手経路は、小学生、保護者等とも学校を通じて知った人が大半

◆当日、リーフレットを忘れた人や無料データーを知らない人が多数存在

◆バス運転士が不足している状況については、7割以上の保護者等が認知、

小学生の認知度は半数以下

(資料：バス事業者アンケート、小学生、保護者等Webアンケート結果)

◆学校から児童（保護者）

への周知方法の工夫・改善

や、学校以外の情報入手経

路を強化する必要性

◆無料データーの実施によるバス

利用の意識、行動の変化の

継続的な測定及び検証

【県活性化協議会（R7.3.14）有識者意見より】

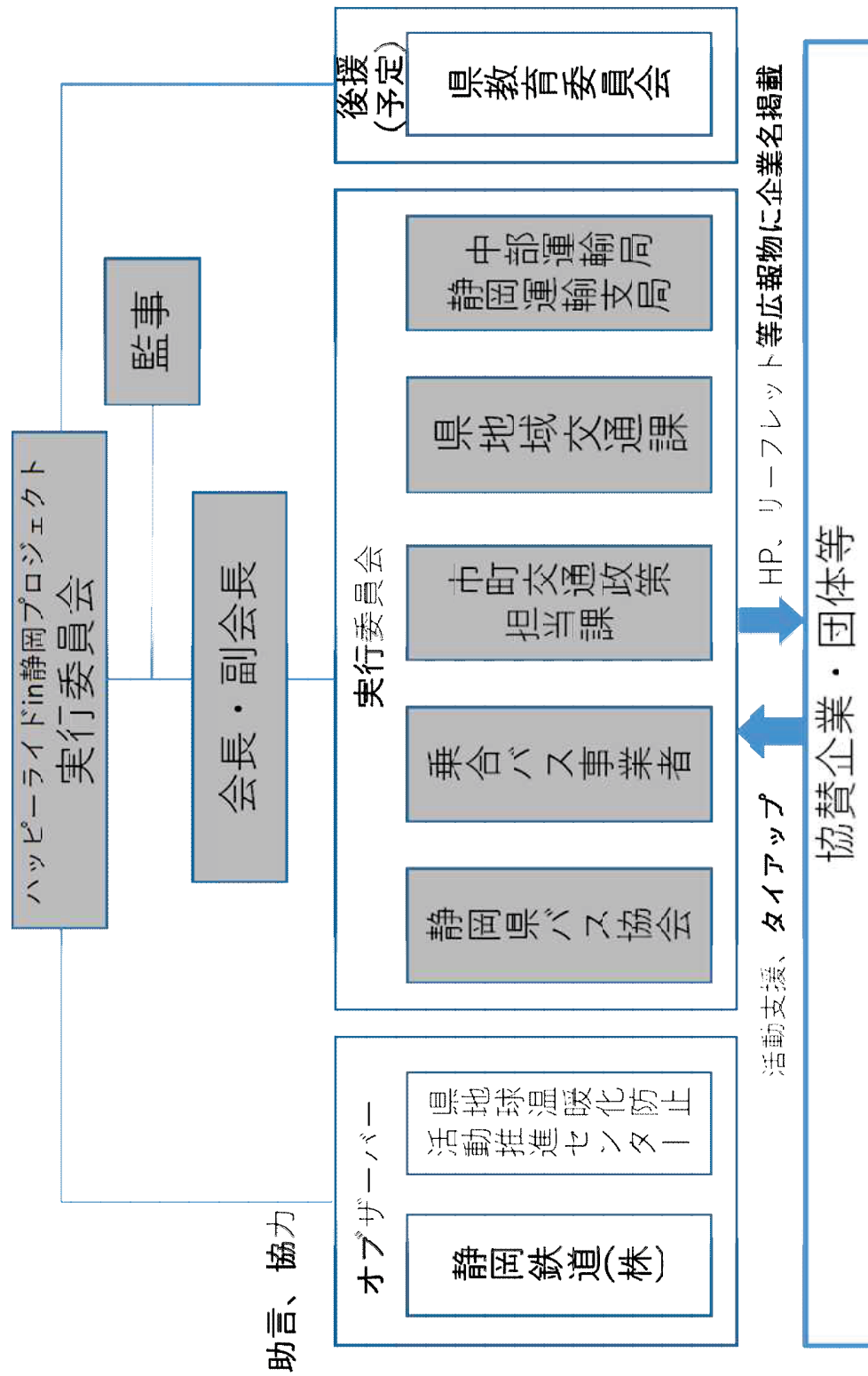
一過性のイベントで終わらせないために、持続可能なスキームの構築の必要性

2025バス無料デーの新たな取組

内容

広報強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆無料デー特設サイトの開設 ◆周知用掲示物（ポスター等）の作成 ◆実行委員会構成員による一体的な広報の実施 （一斉プレスリリースの実施、車内広告、子育て支援施設、自治会回覧板等での周知等） ◆バスの日と連動した無料デーの告知 ◆大型商業施設等への広報協力依頼 （例：イオン、ららぽーと、サントムーン、コンビニ各店舗等）
実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ◆プロジェクトへの協賛企業・団体（スポンサー）の募集 ◆教育委員会の後援名義取得
学校との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ◆授業での活用を依頼 （教材提供※～リーフレット配布～無料デー利用によるバス乗車体験～WEBアンケート） ◆県校長会理事会での協力依頼 <p>※バスの乗り方やマナーを学べる動画を作成予定</p>

2025バス無料デーの実施体制（組織図）



2025実施計画

項目	内容
対象者	静岡県内の学校に通う小学生 524校 約173,000名 (国公立・私立小学校、特別支援学校、外国人学校等の全児童) ※R6実績を仮置き
<u>実施日</u>	<u>令和7年12月13日(土)～14日(日) 2日間</u>
利用方法	リーフレットをバス運転士に提示
対象のバス	静岡県内を運行する路線バス・コミュニティバス (土日運休路線、高速道路走行路線等一部対象外の路線・区間あり)
主催	ハッピーライドin静岡プロジェクト実行委員会(令和6年4月24日設置) 構成員：国、県、市町、(一社) 静岡県バス協会、乗合バス事業者 事務局：静岡県バス協会、県地域交通課
オブザーバー	静岡鉄道株式会社、静岡県地球温暖化防止活動推進センター
<u>協賛企業・団体</u>	<u>(今後、募集)</u>
<u>後援</u>	<u>県教育委員会(今後、名義取得予定)</u>

実施計画(案) スケジュール

月日	内容
5月12日	実行委員会（第1回）の開催、実施計画の決定
5月中旬	各学校長あて小学生バス無料デーへの協力依頼を发出 ※4/25県校長会理事会での説明済（県）
5月下旬～	市町地域交通会議等での説明（県）、運賃協議会での承認（市町）
6月～	実施路線の特定、タイアップイベント企画の募集
～8月下旬	周知用広告物の作成配布、特設サイト公開
<u>9月中旬</u>	<u>プレスリリース①（バスに日に合わせた一斉広報）</u>
<u>11月</u>	各学校経由で小学生に無料デーリーフレットを発送 <u>プレスリリース②（直前の一斉広報）</u>
12月13～14日	小学生バス無料デーの実施、タイアップイベントの実施
～2月	利用者アンケート等のとりまとめ（効果検証）、翌年度実施検討

「静岡県小学生バス無料デー」実施結果の公表 ～子どもの利用は前週翌週の約4倍に～

(静岡県交通基盤部地域交通課)

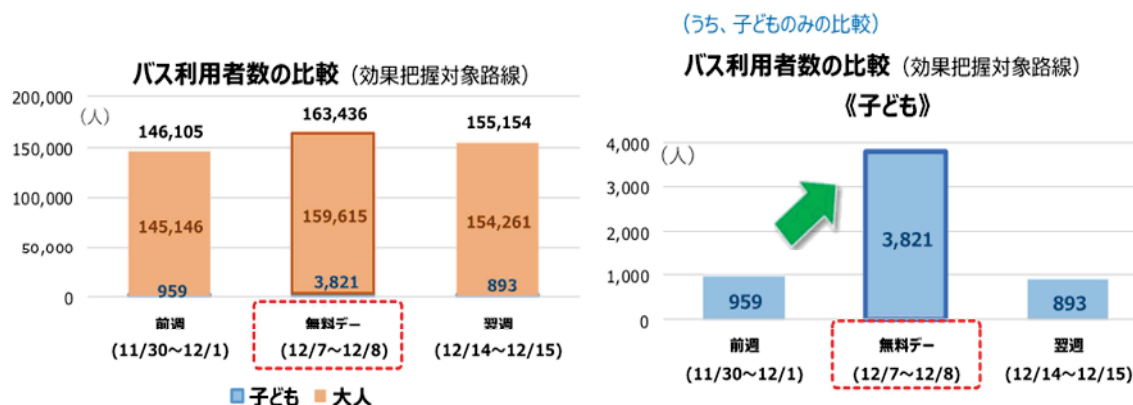
1 概要

- ・令和6年12月7日（土）～8日（日）の2日間、「乗って、残す。」をコンセプトに、県内の学校に通う全ての小学生を対象にバス無料デーを実施した
- ・子どものバス利用者数は、前週、翌週の約4倍となるなど、ふだんバスに乗車しない小学生がバスを利用する機会となった

2 主な実施結果

(1) 利用者数

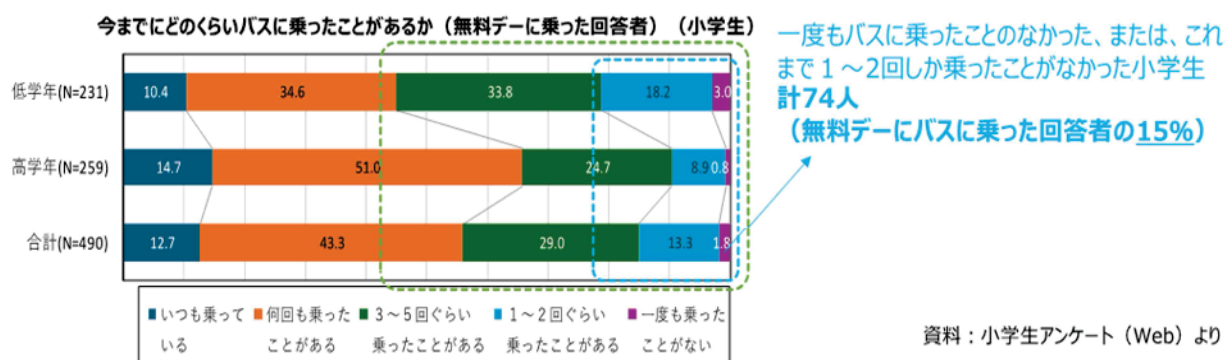
- ・バス事業者からの報告による無料デーのバス利用者は、実施の前週、翌週のいずれと比較しても増加
- ・特に子どもの増加が顕著で、前週、翌週の約4倍



※乗車人員（大人、子ども）は無料デー当日の人数把握ができた路線の合計値

(2) 利用促進効果

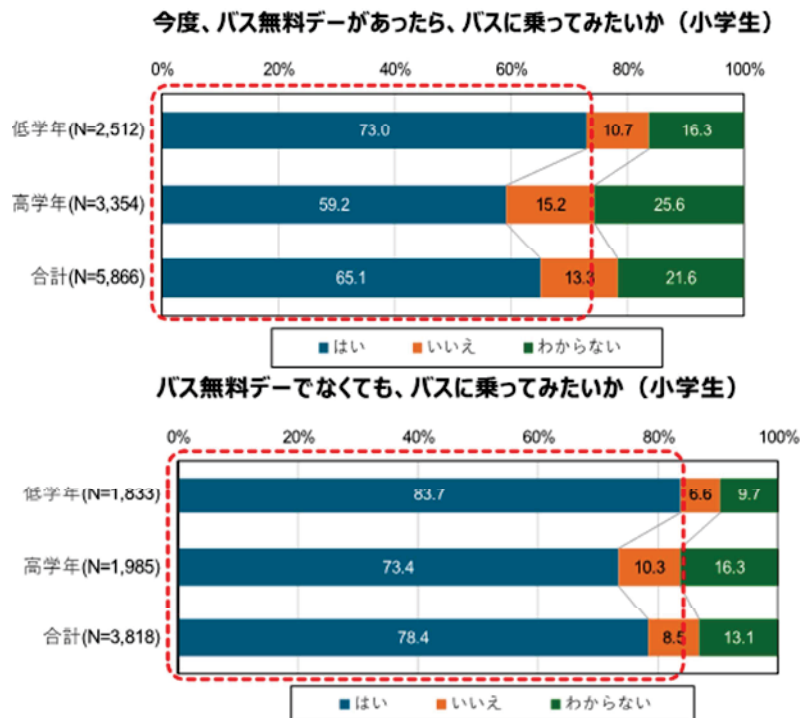
- ・バス無料デーに乗った小学生のうち、バスに乗った頻度が少ない（今までに3～5回以下）小学生が44%を占めた
- ・そのうち、1度もバスに乗ったことがない、または1～2回の乗車経験が極めて少ない小学生は15%だった
- ・以上の結果から、ふだんあまりバスを利用しない小学生に、バス利用を体験する機会を提供できたと考えられる



（3）利用意向・意識の変化

①小学生

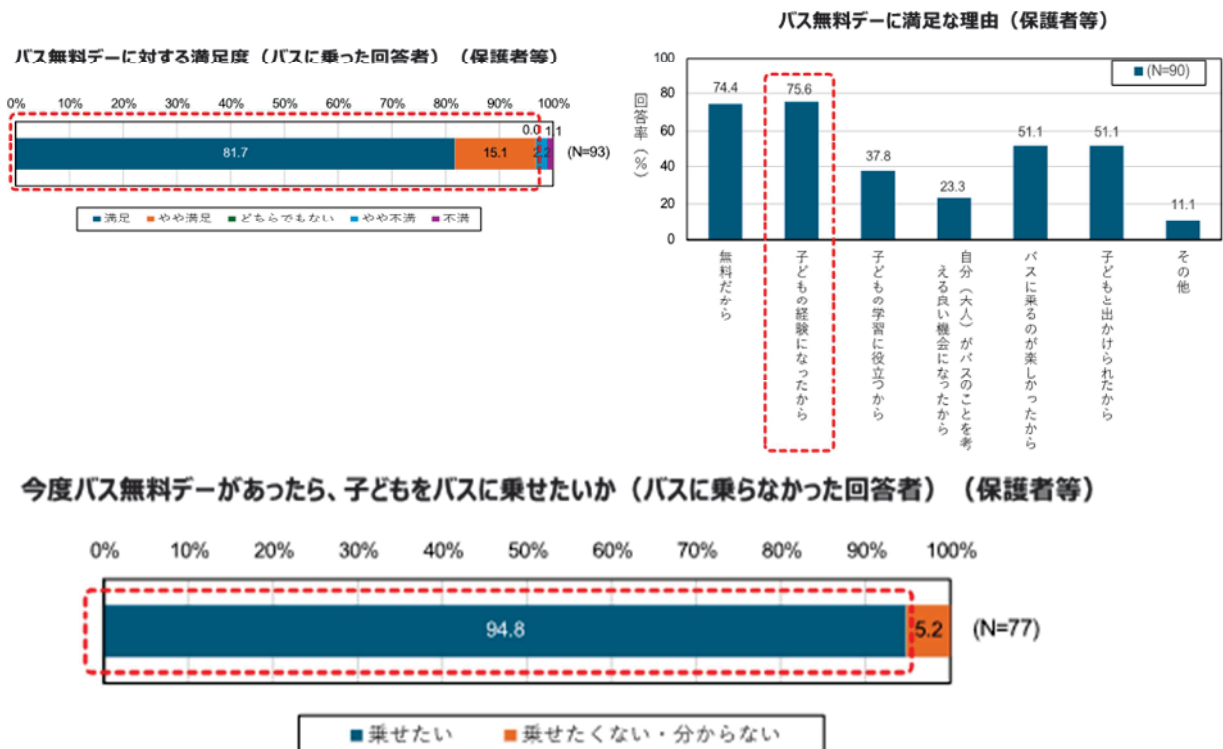
- ・ 今度、「バス無料デー」があればバスに乗ってみたいという小学生が全学年で6割以上を占めた
- ・ このうち、無料デーでなくても乗ってみたいという小学生が全学年で約8割を占めた
- ・ 以上の結果から、事前広報を含めバス無料デーが、小学生のバスに対する関心や利用意識の醸成に寄与したものと考えられる



資料：小学生アンケート（Web）

②保護者等

- ・バス無料デーに（小学生と一緒に）バスに乗った保護者等の8割以上が、バス無料デーに満足と回答
- ・満足な理由として「子どもの経験になったから」との回答が最も多く、保護者もバス無料デーが、子どもがバスの乗車を体験するよい機会になると認識
- ・今回のバス無料デーにはバスに乗らなかった保護者等についても、9割以上が次回は子どもを乗せたいと回答
- ・以上の結果から、保護者もバス無料デーが子どもがバスの乗車を体験するよい機会になると認識していると考えられる



資料：保護者等アンケート（Web）

以上は、調査時点の結果であり、今後の行動変容につながるかどうかは継続した取組及び調査が必要

参考

【イベント概要】

1 実施日

令和6年12月7日（土）～8日（日）

2 対象者

静岡県内の学校に通う小学生（約173,000人）

3 利用方法

運賃を支払う代わりにリーフレットをバス運転士に提示

4 対象路線

静岡県内を運行する路線バス・静岡県内のコミュニティバス

（対象外路線 土日運休路線、高速道路を走行する路線、空港アクセス線など）

5 主催

ハッピーライド in 静岡プロジェクト実行委員会

（構成団体）

国、県、市町、（一社）静岡県バス協会

しずてつジャストライン(株)、遠州鉄道(株)、(株)東海バス、伊豆箱根バス(株)、
富士急静岡バス(株)、富士急シティバス(株)、富士急モビリティ(株)、富士急バス(株)、
秋葉バスサービス(株)、山梨交通(株)、(株)大鉄アドバンス、日本平自動車(株)

6 協力団体

静岡鉄道(株)、県地球温暖化防止活動推進センター、（一社）静岡県自動車会議所
ほか16団体

7 特別協賛

静岡ブルーレヴズ(株)



【PR用ロゴマーク】